

和良の郷だより

ミモザ号

和良おこし協議会発行



顔をだしたムササビに感嘆の声

2月11日(祝・木曜日)に「ばんどり探検隊」を開催しました。コロナ禍とあって、感染予防の対策を取りながらの実施でした。秋の開催に続き、今回は「長良川おんげく」のプログラムとしての開催となりました。



(集穴観察時の様子)

立春も過ぎましたが、朝晩はまだまだ冷える日々が続きます。この日の日は良いお天気でやや暖かな日でしたが、風があり体感温度は低く感じます。前回のようにはんどりの滑空をみるのが楽しみです。スタッフ

立ちも過ぎましたが、朝晩はまだまだ冷える日々が続きます。この日の日は良いお天気でやや暖かな日でしたが、風があり体感温度は低く感じます。前回のようにはんどりの滑空をみるのが楽しみです。スタッフ

フは始まる前はいつも下キドキです。午後2時半から受付を開始し、それぞれ自己紹介を済ませた後、まず「ばんどりコール」の制作体験をしていただきます。ばんどりコールは、繁殖期の鳴き声に似たかわいらしい音が出るので、バードコールとも呼ばれるものです。目にした方も多いのではないのでしょうか？

続いて、キャプテン・

一通りムササビについての理解を深めたところで、観察地のフィールドワークを行います。場所を観察地に移して、糞や食痕を探します。糞は小さくて地面の色に近いので、見つけにくいですが根気よく探すと、意外と多く落ちていていることに気づきます。

ふん探しをしてから、集穴の観察です。使われている集穴を数か所まわって、夜に滑空観察する場所の見当を付けます。集穴は高い位置で枝などにおおわれて見えない場所にもありますが、比較的低い場所、とはいっても地面から10mほどのところもあります。集穴は大きな木の樹洞(うろ)を利用しています。木の根元には糞も発見することも出来ました。意外と人の気配を感じられそうなどころにもあるのも面白いです。みんなで集穴を見上げてみると…

ばんどりが顔を出しました！

集穴からこの様子伺うようにしばらくの間、顔を覗き込んでみるうちに、そのかわいらしい姿に全員が目がくきつけます。高い位置なので大きく見えるわけではないですが、そのかわい



集穴からこの様子伺うようにしばらくの間、顔を覗き込んでみるうちに、そのかわいらしい姿に全員が目がくきつけます。高い位置なので大きく見えるわけではないですが、そのかわい

い顔にテンションが上がります。その集穴にいることが確認できたので、夜の観察ポイントとします。

観察時間を迎えるまで、一旦わらおこしに戻って先ほど撮影したムササビの写真を拡大してみると、そこにはかわいい姿がしっかりと映っていました。珍しい瞬間を捉えることができ、何やらこれで大満足な雰囲気も漂います。

いよいよ日没を迎えて観察現場へと向かいましたが、残念ながら滑空する姿を見ることはできませんでした。どうやら間にまぎれて、樹の裏から裏と飛び移り、山の方へ去ったようです。そこからわらおこしに戻り、冷えた体を焚火で温めながらムササビの話や他の動物の話で盛り上がりました。話しながら、いそげのカンパニーで作った「ハイジのパン」、特製「ばんどり汁」(中身はけんちゃん汁)をお腹いっぱい食べました。最後には焚火の定番、マシユムロをあぶったりして、ゆったりとしたひと時を過ごしました。

わらおこし(下洞554)に立ち寄った人々がちょっと仕事をしたり、オンライン会議ができるように、施設をもっと整備しました。さらに、初めて和良に来訪した人が情報収集などの時間を過ごすことができる、これまでよりもっとオープンな場所になります。

もちろん、これまで通りのご利用もできますので、お気軽にお立ち寄りください。

※2月15日よりフシオープン(地域の方のみ)オープン(料金無料)緊急事態宣言解除後しばらくしてから地域外の方にオープンします。

◆利用時間◆
月曜日～金曜日 9時～17時
(祝日、イベント開催日を除く)
※スタッフ不在時は「コンナサイ」

◆利用料金◆
※コワーキングスペースとして利用される方の利用料金です。
千円/日(コーヒー1杯付)
五千円/月(1ヵ月間利用放題)
学割: 中・高校生は五百円/日
(両親の了解を得てから、ご利用ください。)



(参加者の様子)

コワーキングスペース 始めます

わらおこし(下洞554)

に立ち寄った人々がちょっと仕事をしたり、オンライン会議ができるように、施設をもっと整備しました。さらに、初めて和良に来訪した人が情報収集などの時間を過ごすことができる、これまでよりもっとオープンな場所になります。

もちろん、これまで通りのご利用もできますので、お気軽にお立ち寄りください。

※2月15日よりフシオープン(地域の方のみ)オープン(料金無料)緊急事態宣言解除後しばらくしてから地域外の方にオープンします。

◆利用時間◆
月曜日～金曜日 9時～17時
(祝日、イベント開催日を除く)
※スタッフ不在時は「コンナサイ」

◆利用料金◆
※コワーキングスペースとして利用される方の利用料金です。
千円/日(コーヒー1杯付)
五千円/月(1ヵ月間利用放題)
学割: 中・高校生は五百円/日
(両親の了解を得てから、ご利用ください。)



ゆっきーのかりていく 池戸 昭善 さん

平成15年までの42年間、郵便局で勤めあげられたあと、美林の会、自治会長、シニア会和良支部長、地域協議会、福祉委員など地域のために働かれ、現在は福祉委員をされている池戸昭善さんにお話を伺いました。

ー 幼少時代について教えてくださいませんか？

子供の頃は同級生がたくさんいた。和良の小学校の最盛期は五百何人いた。冬はそりや竹スキーを作って遊んだ。夏は魚釣りで鮎、うぐい、ちぢこ、うなぎなどを捕った。その頃は川を歩くと魚を踏みつけるぐらいものすごい魚がおった。今じゃ想像できんわ。十七、八歳の頃に鮎かけを覚えて素人だけど、たくさん釣れた。

子供もたくさんいたから、とこかく腹が減っていたという記憶がある。山に行くと柿、栗を採ったり、川に行くと魚を捕ったり。子供の時は肉なんてあらへん。卵をとるために飼ってる鶏をつぶして年に1、2回だけ肉を食った。豚なんて食べたことなかったな。今みたいに冷凍技術がなかったから刺身なんてなかったな。ホントにからい鮭とかクジラの塩漬はあったな。

ー 幼少時代好きだった遊びを教えてください。春、秋はみんなで田んぼで野球をやった。冬はスキーやった。みんな自然のなかで遊んで、外で工夫して遊んだ。その時は道具がなかったから、竹を切ってきて、先輩に作り方を

を教えてもらいながら、スキーやそりを作ったりした。甲斐性のある人は野球のグローブも布で作った。学校に入る前の5、6歳の頃から折り畳みのナイフを使っていた。当時は鉛筆削りもあらへんから自分でやらな、生活でけへん。けっこうケガなんかもあったよ。バンドエイドなんかあらへん。その頃に育った人はまだ当時の傷があると思うよ。

ー 和良のどんなところが好きですか？

やっぱり人情があるところかな。助け合って生活している。またそれがかえって、なれ合いになって競争がなかったりするな。和良である程度豊かな生活ができてる人が多いから冒険をしないということになるかもしれない。自分もそうだが、今の生活を維持して、これから変わったことをやろうというのがない状況でないかな。

ー 和良の住みやすさってどんなところですか？

いつも思うんやけど、診療所はあるわ、歯医者はあるわ、スーパーはあるわで、和良から出ていかんでも生活にここかかん。もちろん、学校もある。それは和良でありがたいと思う。雪もそんなに降らないし、ええ川もあるし。行きたければ金山、八幡にもずっと行ける。住むには恵まれていて、ちょうどええところやと思う。

ー どんなところが改善されるといいですか？

高齢化のことが一番心配だ。畑、田んぼ、山が荒れていってしまうのではないかな。人口が

減っていったときに学校、保育園、診療所などのインフラを維持できるのか。和良だけの問題ではないけど、そのときのために今から何をするか。今、近所で朝起きた時にお互いに見守り、気に掛けたりしている。行政に頼るばかりでなく、自分たちで助け合っていくことが重要になっていくんじゃないかな。またこれから先、後継者がいなくて、祭りなどを続けていけるのか。

ー 祭りについても少しお話を聞かせていただけますか？

下洞の祭りは70年間一度も休まずに舞子から笛、獅子まで祭りに携わってきた。ありがたいことにその間、病気やケガがなく一年も休まずにできた。昔はみな一年中毎日働いていた。田んぼにでたり、縄や俵を編んだり、蚕をやったり。祭りは一年一回の楽しみだった。芝居もきた。当時はテレビなどの娯楽もないから、ワクワクしながら指折り数えて祭りの当日を待っていた。さつき会の会長の時に最初に歌手をよんで歌ってもらってから二十何年ずっと続いている。祭りの時によそから帰ってくる人もいて、食べ物、飲み物を振舞って楽しんでもらったので、みんなのいい思い出になるかな。これからもできるかな？



イベント掲示板

郡上市市民協働センター サブセンター相談会
とき: 3月17日(水) 10時~15時
ところ: わらおこし(和良町下洞554)
相談員: 上村英二センター長

和良川クリーンアップ作戦
日時: 3月28日(日) 9時
集合場所: 旧役場駐車場
申込先: 0575-77-2277
主催: 和良川を守る会

みんなで楽しく蛍の調査をしよまいか! 幼虫編

日時: 3月28日(日) 13:30
集合場所: わらおこし
講師: 向井貴彦氏(岐阜大学)
参加費: 無料
申込先: 0575-77-2277
warahotal@gmail.com
主催: 和良川を守る会
共催: 和良川を守る会

和良町の人口

令和3年2月1日現在

